

# 報社 あそみや

平成 7 年 11 月 1 日  
第 16 号  
発行所  
阿蘇神社社務所  
多良見町化屋名 862  
TEL 0957-43-5235

例祭を記念して奉納された

## 白磁菊花彫「二段香爐」



茂右工門窯工房 第十五代 茂右工門 作

### ご挨拶

阿蘇神社宮司 大島 大明

氏子崇敬者各位には、日頃より格別のご支援、ご高配を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

私儀、今般神社本庁より神職身分二級への昇級の栄を賜りました。昭和六十三年九月一日付で阿蘇神社に着任し、早いもので七年の年月が経過いたしました。着任以来多くの方よりご指導、ご鞭撻を賜り大過なく神社宮司として奉仕を続けて参りました。今回の身分昇級という栄も、神社総代を始め氏子各位の絶大なるご支援の賜物と深

く感謝いたしております。

今般の神職身分昇級に際し、総代会より例祭等に着用する衣冠一式を購入していただきました。衣冠は、金額的にも高価であり総代会に多大なご負担をお掛けすることとなり、恐縮に存じております。今回のご高配に報いるためにも、尚一層の精進を重ね、阿蘇神社の御神徳の昂揚に努める所存でございます。氏子各位の更なるご支援をお願い申し上げます、御礼のご挨拶を申し上げます。

#### 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であって、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて、向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、  
明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、  
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

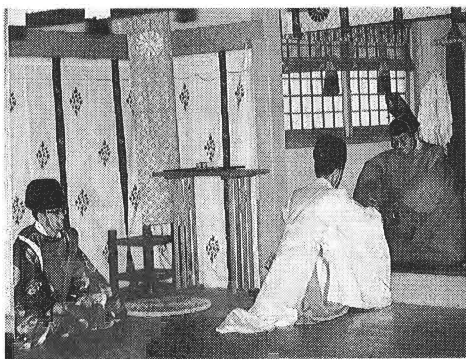
一、大御心をいただきてむつび和らぎ、  
国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

# 平成七年度例祭

## 恙なく齋行される

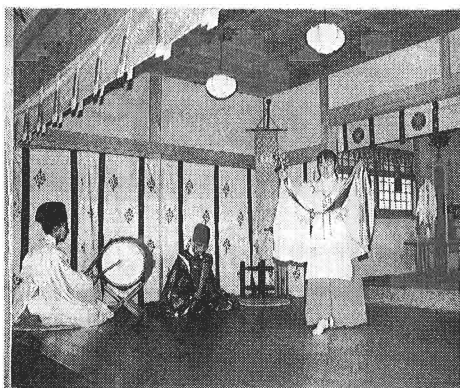
好天候に恵まれた十月十五日、平成七年度阿蘇神社例祭が、社庁尾道勝美理事他氏子多数の参列のもと厳肅に齋行されました。

午前十一時、神職身分二級へ昇級した宮司は、真新しい赤袍・紫奴袴の衣冠に身を正して参進、例祭奉祝の祝詞を奏上した。神前には各種神饌と共に神社本庁よりの幣帛料も供えられ、太鼓に合わせ巫女による神楽舞も奉納されました。その後参列者の代表が順次玉



串を捧げて拝礼を行い、恙なく例祭を終了しました。

祭典終了後、過日有田焼白磁置物「御鯨」を奉納された有田町窯元(株)陶楽・原口 隆氏へ宮司より感謝状と記念品が贈呈されました。また、例祭を記念して佐賀県杵島郡山内町の陶芸家、茂右エ門窯の十五代茂右エ門氏より白磁「香爐」が奉納された。この「香爐」は菊の花を彫んだ逸品で、三個を作成され、秋篠宮家と明治神宮へ



それぞれ献上された最後の品とのことです。奉納者十五代茂右エ門氏のご厚意に感謝申し上げ、阿蘇神社の社室として次代へ伝えて参ります。

引き続き社務所で直会が開催された。先ず本島吉松総代会長が挨拶を述べ、続いて社庁尾道理事、石丸多良見町長より交々祝辞が述べられた。坂田町議会議長の発声で乾杯を行い参加者全員で阿蘇神社の例祭を祝って直会を行った。

大祭に際し、以下の方より御献納いただきました。ご厚志に感謝申し上げます御礼申し上げます。

### 《順不同・敬称略》

◇御神酒奉納  
十八銀行多良見町支店、諫早信用金庫多良見支店、親和銀行多良見支店

◇ビール奉納

徳永建設・徳永孝次

◇初穂料奉納

中村 堯、溝上 満、相良信義、佐藤 晶、多良見町長、松尾春雄、多良見町議会議長、松本 淳、森開発・森 強、かこい組・池田忠憲、喜々津農協組合長、小山好磨、多良見町郵便局長・原口博道、辻ミツ、清松正雄、遺族会長・中路治夫、阿蘇神社奉納相撲実行委員会、森商会・森正雄、尾道勝美、(株)陶楽・原口 隆、吉澤稔

以上



# ご挨拶

阿蘇神社総代会会長 本 鳥 吉 松



氏子の皆様方には平素より阿蘇神社に對しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

去る十月十五日に阿蘇神社の例祭が無事に斎行されました。天候にも恵まれ、多数の御参列をいただき恙なく終了しましたことをご同慶に存じます。

さて、大島宮司には本年九月一日付けで、神社本庁より神職身分二級に昇級の栄を受けられました。九月十九日に長崎県神社庁に於いて認定書の伝達を受け、同二十九日には、阿蘇神社御神前に於いて神社庁尾道理事の臨席のもと、総代一同参列をして、昇級報告祭を斎行いたしました。

阿蘇神社といたしましては、宮司の昇級はまことに目出度い限りでございますが、神職は身分が昇級することにより、着用する装束の色が一新いたします。例祭を控えて着用する衣冠の買い替えの必要が商事、早速に臨時の総代会及

び評議員会を開催して対応を協議いたしました。神社としての慶事であるので氏子より少しづつでも祝金として浄財を募ってはその意見等のごさいましたが、最終的には神社の備中として総代会の基金より購入させていただくことと相成りましたので、ご報告申し上げます。

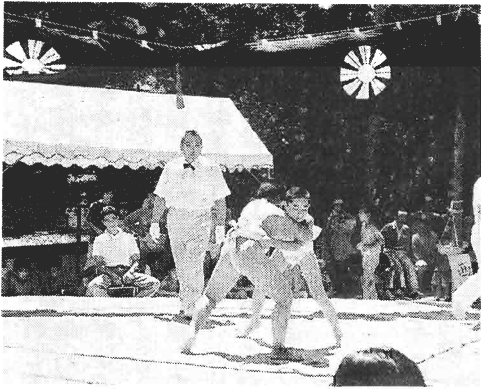
次に、毎年年末にお願いをいたしております伊勢神宮の御神札「神宮大麻」につきましてお願いを申し上げます。

伊勢神宮よりの通達で、去る七月一日より今まで五百円であった「神宮大麻」の初穂料が、八百円に改定されました。御神札をお受けただいています方にも、また頒布のお世話をいただく皆様方にも、ご迷惑をお掛けいたすことと存じますが、従来通り各戸に頒布されますよう重ねてお願いを申し上げます。

最後に氏子の皆様方の益々のご多祥とご健勝を祈念申し上げます。ご報告がたがたをお願いを申し上げます。

## 恒例 奉納相撲大会終了

九月十五日、爽やかな秋空のもと、神社恒例の「阿蘇神社奉納相撲大会」が境内の土俵で開催されました。阿蘇神社奉納相撲実行委員会(会長松尾義光氏)主催によるもので、本年は町内十一チームと町外より九チームの小学生、諫早農業高校と長崎水産高校の相撲部が参加して開催された。町内団体戦・個人戦・町對抗戦そして景品のかかった五人抜き・三人抜きの抜き相撲に熱戦が展開された。また、当日の様子はKTNと諫早有線テレビの二社により取材・



録画撮りがあり、それぞれテレビで放送されました。当日の成績は以下の通り。

### ◆団体戦

優勝 喜々津団地A

準優勝 市布

三位 中里 A

同 中里 B

### ◆個人戦

◎四年生の部  
優勝 柳谷和佑(喜々津団地)

準優勝 山口浩也(井樋ノ尾)

三位 藤本康太(市布)

同 吉賀敦史(井樋ノ尾)

### ◎五年生の部

優勝 山口 讓(井樋ノ尾)

準優勝 鎌塚貴仁(木床)

三位 間ノ瀬優希(木床)

同 西村祐也(西川内)

### ◎六年生の部

優勝 石丸善弘(木床)

準優勝 七條泰英(喜々津団地)

三位 小山泰弘(市布)

同 山崎史雄(木床)

準備より後片付けまで阿蘇神社奉納相撲実行委員会の皆様には大変お疲れ様でした。また大会に参加された選手の皆様方、ご協賛いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。

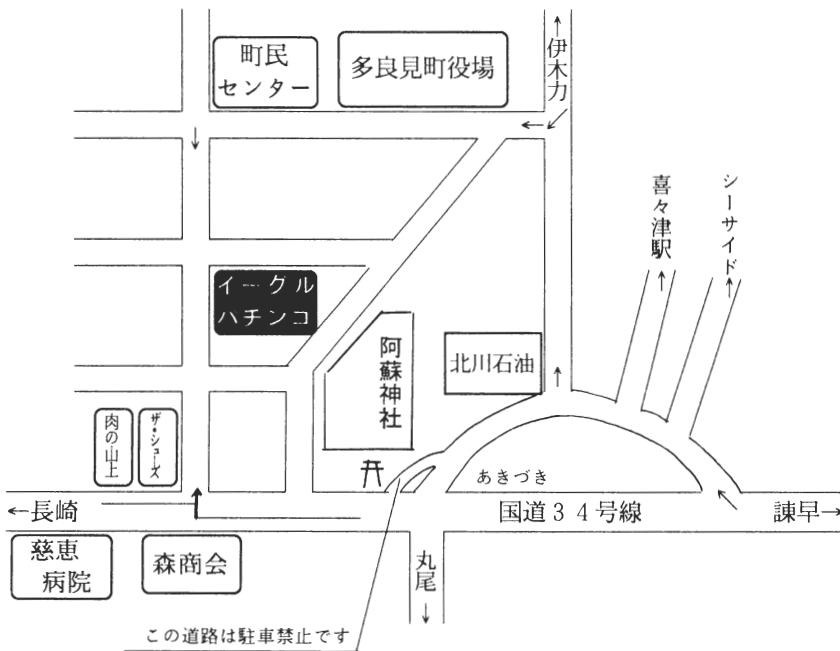
# 七五三詣では阿蘇神社へ!

平成7年七五三祝 数え年

- 7才 平成元年 生の女兒
- 5才 平成3年 生の男児
- 3才 平成5年 生の男女共

一般的に三才は男女、五才は男児、七才は女兒がお参りをします。三才を「髪置」五才を「着袴」七才を「帯解」と云い、いずれも子供の無事成長を感謝し、今後の幸せを祈る祭りです。

\*\*\*\*\*



- ◎神社では十一月十一日(土曜日)と十二日(日曜日)、及び十五日(水曜日)は終日七五三祈願の受付をいたします。
- ◎これ以外の日にご参拝の方は、地鎮祭・結婚式等で留守をする場合がございますので、お手数ながら事前に神社まで連絡をお願いいたします。
- ◎十一月十一日(土)・十二日(日)は写真館より出張し、境内で記念撮影をいたします。ご希望の方は、当日受付にお申し出下さい。
- ◎七五三詣でに自動車でお越しの方は、神社裏イーグルパチンコ店の駐車場を借用いたしておりますのでご利用下さい。(地図参照)

## ◆ 奉納御礼 ◆

以下の通り御奉納を賜りました。

◎祝詞用紙(ひざつき) 一枚

佐藤豊店 佐藤素弘 殿

また、毎月境内の清掃奉仕をされています老人会誠会、多良見ライオンズクラブ、遺族会の皆様方に衷心より厚く感謝申し上げます。

## あ と が き

「あそみや」第十六号をお届けします。◆今年には台風の影響もなく、お米は順調のようです◆九月の相撲大会にはKTNと諫早有線テレビの二社により取材・録画撮りがあり、後日それぞれ放送されました。特にKTNでの放送では、町外の人から「テレビを見たヨ」と多くの声を聞きました。テレビでの宣伝効果は大きいようです◆今年も残り少なくなってきました◆朝夕の冷え込みも日毎に厳しくなってきました。ご自愛専一にお過ごしください。

◎大駐車場完備(阿蘇神社裏)  
イーグルパチンコ  
神社参拝の駐車場としても  
ご利用下さい